新宮山彦ぐるーぷ第２３６９回

地蔵岳鎖場のシャックル交換

◇実施日　　６月５日（木）　晴れ
◇参加者　　阪口雄二、葛藪忠、湯川一郎　３名

地蔵岳の鎖場については、３月２３日に実施した巡回整備で確認されていたが、藤原さん（行者）が一部手直しをされてくれたようだった。それらの情報を基に、経年劣化により強度不足が危惧されるシャックルを交換するため地蔵岳に出向いた。そのため、事前に阪口さんが児島さんからシャックルを預かり、沖﨑代表からボルトクリッパーを借りていてくれた。

東屋岳登山口からは二人に先行してもらったが、南奥駈道との出合いで休憩し待っていてくれた。二人には再度先行してもらい、地蔵岳の作業場所へ向かってもらった。交換場所は地蔵岳山頂から葛川辻に向かう最初の鎖場で、丁度、前鬼からの登山者が登ってきたところだった。その登山者からは持経宿で缶ビールをいただきましたとの話があった。

作業後、２６番鉄塔へ向かう途中の槍ヶ岳の下で、補助ロープがかなり痛んでいた。以前、松井さん（山岳ガイド）からロープ数本を寄付していただいており、その内の１本を車に積んでいたのに、持ってこなかったことを後悔した。

２６番鉄塔で展望を楽しみながら昼食をとった後、鉄塔巡視路経由で東屋岳に戻り下山した。鉄塔巡視路は木が伐採されたことで見通しがよくなり、随分歩きやすくなったと感じた。

（記：湯川）

行動タイム

東屋岳登山口８：23→10：24 地蔵岳 10：52→11：09２６番鉄塔 11：40→12：30 東屋岳登山口

地蔵嶽本尊

交換後のシャック